

公共施設

市民総合体育館の現状と今後について

気温や湿度の状況は。

③市立の体育施設ではどのような対策を講じているか。

木村まゆみ議員(共産) ①暑さ対策として第3体育室に冷房設備を設置できないか。

②老朽化が進んでいるが、大規模改修など今後の方針は。

③第2体育室が空いているときには別の体育室の登録団体にも貸し出せないか。

教育長 ①暑さ対策としては4台の扇風機と窓の開閉により対応しており、現時点では冷暖房を設置する予定はない。

②今後も計画的な維持補修を行い、緊急度の高いものから改修をしていきたい。

③別の登録団体への貸し出しはしていない。あいている時間は個人開放を行っている。

市民総合体育館 第2体育室



小平市が管理する施設の熱中症対策は十分か

滝口幸一議員(フオ) ①市の施設で市民が熱中症により病院に搬送された例は。

②就学時間中の学校の教室の

若い発想を

苗村洋子議員(生ネ) ①リブレこだいらと美術大学の学生とごみ減量対策がタイアップして、ごみの出し方パンフレットやロゴマークのデザインを変えてはどうか。

②リブレこだいらやごみの出し方を学生に周知するため、大学が入学時に配布する資料等に案内を同封してはどうか。

市長 ①今後は美術大学の学生も含め市民から意見をもらい、より分かりやすいパンフレット等を作成したい。

②ごみの出し方を説明する機会や資料配布については大学と協議したい。

環境 下水道

資源化率アップを目指しリサイクルセンターの施設整備を

石毛航太郎議員(フオ) ①プラスチックごみの資源化率の推移は。また、多摩26市で資源化率が最高の自治体は。

②ごみ処理基本計画に中間処理施設の大規模な見直しが必要とあるがどうなったのか。

市長 ①平成18年度1・42%、19年度1・52%、20年度は1・60%で、平成20年度の資源化率が最高の自治体は三鷹市である。

②平成20年に市民懇談会を設置し報告書が作成された。また同年、小平・村山・大和衛生組合と構成市3市職員による専門部会で検討が行われ本年4月に



冷陰極蛍光灯ランプ等の高効率照明器具を戦略的に採用しよう

虹川浩議員(公明) ①現状の器具と比較して照度が若干劣るとの指摘があったが、事務室以外の廊下やトイレ等には適すとの見解に変化はあるか。

②小・中学校に高効率照明器具や太陽光発電型外灯を適所に採用し、エコスクール化を推進できないか。

市長 ①照度の面から事務室以外への設置を考えている。

教育長 ②冷陰極蛍光灯ランプは、全庁的な使用状況等を考慮して対応したいと考えている。太陽光発電型外灯については、費用対効果を考慮しながら検討していきたい。

瓶、缶など6品目の3市共同資源化施設計画は白紙見直しを

橋本久雄議員(市自) ①東大和市議会で建設見直しを求める

児童・女性

長期休業期間中に児童クラブで給食を実施できないか

常松大介議員(フオ) ①長期休業期間中の昼食の現状は。

②給食を実施した場合の一日当たりの費用と積算内訳は。

③費用や給食室のメンテナンス等以外に実施できない理由は。

市長 ①必ず弁当を持参するようお願いしている。

②小学校給食の場合は低学年が226円、中学年が238円で食料費に充てている。児童クラブの場合は対象数が少ないため、費用は上昇すると考える。

③長期休業日は出席児童数の把握とそれに応じた食料の仕入れが困難である。

児童クラブ指定管理者募集に伴う仕様書について

滝口幸一議員(フオ) ①来年度に新設する児童クラブの指定

決議が可決された事態を構成市としてどう考えるか。また白紙を含めた見直しの考えは。

②構成市として小平・村山・大和衛生組合の理事者会開催をなぜ提案しないのか。

市長 ①3市にとって必要な事業と認識しており、東大和市からの協議要請を待っているが、現段階では計画に基づき事業を進めていきたいと考えている。

②事業の前提となる3市の合意事項が崩れることから、組合に対してではなく東大和市から小平市及び武蔵村山市に協議の要請があると考えており、理事者会を開催する考えはない。

児童虐待から子どもをいじめから守れ

立花隆一議員(公明) ①児童相談所の相談件数やケースワーカーが抱える案件の実態は。

②児童相談所と警察署の連携体制は。

③今後の市の取り組みは。

市長 ①昨年度の新規受付受理件数は1万6千7百22件で、児童福祉司の定数172人で割り返すと一人当たり97件だが、実際はこの件数をかなり超えていると聞いている。

②年1回の定例協議のほか担当者の連携は随時図られており、急な援助依頼についても協力が得られると聞いている。

認可外保育施設の保育料について

岩本博子議員(生ネ) ①認可外保育施設が所得に応じた料金設定をしていないことに対する見解と今後の方向性は。



楽しい保育園まつり

②保育料見直しの議論とスケジュールは。

市長 ①施設が安定した保育料収入を確保し、健全な運営を維持することは利用者にとっても有意義と考える。現在、保護者の負担軽減の観点から補助制度を検討している。

②子育て支援協議会において3回にわたり議論しており、要件や補助の仕組みに関する意見をもらっている。今後は意見を踏まえて検討を進める。

児童虐待から子どもをいじめから守れ

立花隆一議員(公明) ①児童相談所の相談件数やケースワーカーが抱える案件の実態は。

②児童相談所と警察署の連携体制は。

③今後の市の取り組みは。

市長 ①昨年度の新規受付受理件数は1万6千7百22件で、児童福祉司の定数172人で割り返すと一人当たり97件だが、実際はこの件数をかなり超えていると聞いている。

②年1回の定例協議のほか担当者の連携は随時図られており、急な援助依頼についても協力が得られると聞いている。

道路

都市計画道路3・4・10号線と小平高校通りの安全について

虹川浩議員(公明) ①青梅街道北側の東西主要道路として整備が待たれているが、現状は。

②小平高校通りから十四小通りに至る通学路等の問題点に対する市の見解は。

市長 ①仲町から栄町までの延長約3・6キロメートルのうち、約33%が完成している。未整備の西武多摩湖線から東について、もその必要性を認識しており、将来的には事業化を図ってきたい。

②道幅が狭く安全な歩行空間が確保できていないため、市警察署、十四小PTAが合同で通学路点検を実施し、危険箇所については路面標示や注意看板の設置等により改善をしている。

市内のU字溝をL型溝に整備し安全な道づくりを

石毛航太郎議員(フオ) ①道路のU字溝の延長距離は。

②U字溝についての要望は。

③関係機関とのさらなる連携強化に努めたい。

市長 ①市道は約15・4キロメートルで私道は把握していない。

②U字溝や蓋の改修、溝の詰まり、有効幅員確保などがある。

③武蔵野団地、第一住宅花小金井団地、花小金井団地などの市道は計画的に改善する予定であり、これ以外に個別に対応したい。私道は補助事業の活用により改善していくと考える。

④L型溝に整備予定のU字溝



L型溝に整備予定のU字溝

小平都市計画道路3・3・8号府中沢線の進捗について

鴨打喜久男議員(政和) ①将来、沿道利用により用途地域を変更する予定はあるか。

②緑を確保する計画はあるか。

③玉川上水の横断は平面交差だが市も同意できる構造か。

市長 ①具体的な検討はしていないが、今後地域住民の意見を聞き対応を検討したい。

②雑木林の一部喪失は主要幹線道路の役割や機能上やむを得ないが、恒久的な緑の確保については街路樹の充実等を図った上で検討したい。

③周辺環境への影響や沿道からのアクセス等を考慮した場合、平面構造が最良と考えている。